

## 令和2年度事業報告

公益社団法人日本炊飯協会

### はじめに

米価格維持を図る施策継続で米価格が高止まりしていたところに、コロナ禍、緊急事態宣言の影響を受け、中食・外食が大幅に減りました。家庭食は増加したものの調理に手間がかかるご飯類は思うように増えず、調理し易い麺類・パン類に消費が流れた。中食・外食の減少は大きく、かつてない落ち込みとなった。米生産量はほぼ変わらずで、需要が落ち込めば市場原理から、米価は大幅にダウンし調整されるはずが、米には大きな予算がついており、今まで以上に政策動向に注意を払う必要があります。

当協会では、国産米使用推進団体協議会を通じ、他団体と協力し価格形成の透明化を求め建議等の活動をしてきましたが、その重要度は増しており、連携を強化し活動を続けてまいります。

一方、協会の事業として、①炊飯HACCP認証、②ごはんソムリエ認定③災害時緊急支援など社会貢献度の高い公益目的事業を展開しております。

今後とも事業の更なる充実をはかる所存ですので、関係各位のご協力を宜しくお願い申し上げます。 以上

### 令和2年度事業計画に基づき、下記の通り事業を展開した。

#### 理事会

\*第1回理事会：令和2年6月5日から6月23日にかけて、書面でのやり取りを行い、6月23日に監事2名の賛成承認を得て理事会の議案を承認可決した。書面で承認可決した議案は、平成31年度の事業報告、収支決算報告及び会員の入会（正会員3社賛助会員1社）、また2名の役員退任を受け欠員となっていた理事2名(株)銀しゃり代表取締役社長齋藤壽保氏、全国米穀販売事業共済協同組合理事長木村良氏)の推薦。

\*第2回理事会：令和2年12月2日から12月16日にかけて、書面でのやり取りを行い、12月18日に監事2名の賛成承認を得て理事会の議案を承認可決した。書面で承認可決した議案は、業務執行状況及び収支中間報告、令和3年度の事業計画と収支予算。

#### 総会

\*令和2年6月23日に、コートヤード・マリオット銀座東武ホテル「龍田の間」にて、通常総会を開催した。議長、専務理事より令和元年度の事業報告と収支決算の報告があり承認可決した。また欠員となっていた理事2名の候補者それぞれについて諮り、承認可決した。懇親会は、コロナ禍により未開催とした

\*令和3年3月26日、コートヤード・マリオット銀座東武ホテル「さくらの間」にて、臨時総会を開催した。議長、専務理事より令和3年度事業計画及び収支予算についてそれぞれ諮り承認可決した。懇親会は、コロナ禍により未開催とした。

#### 《各事業報告》

##### 1. HACCP手法支援法の高度化・基盤整備計画認定及びHACCP認証事業

HACCP高度化計画認定は【(炊飯製品)6社：(株)パールライス宮城、(株)マルキョウ、(株)丸久、(株)どんどんライス、(株)Shinmei Delica、富山県ライス栄研(株)、(米飯加工品)2社：(株)パールライス宮城、(株)どんどんライス】の計6社8ライン、累計認定件数は119となった。高度化基盤整備計画認定は、【(炊飯製品)1社：(有)宮渕商店】の1社1ライン、累計認定件数は2となった。なお当協会では、計画認定の後、完工検査（ハード、ソフト）を実施しHACCP認証に繋げている。

##### 2. HACCP更新認定

令和2年度のHACCP更新監査は72件実施し、HACCP審査委員会で認定承認を得た。

##### 3. 米飯品位格付認定事業〈ごはんランキング〉

認定テストは、令和2年6月17日 8工場 8検体

令和2年10月15日 8工場 8検体

令和3年2月17日 9工場 9検体

食味官能検査は(株)ミツハシ、精米分析は(株)川島屋の協力を得て、年間3回実施し、延べ25工場が参加した。

#### 4. 食品衛生推進事業（斡旋物資）

取扱品目は変わらないが、前年より少し少ない扱いとなった。令和2年4月に会員である五芳齋（中国）より、マスク30,000枚を無償提供頂き、会員企業に配布した。

#### 5. 研修指導事業

高度化及び高度化基盤整備計画の認定を行った7社の他、会員1社（北九炊飯（株））に事前アドバイスを行なった。また会員外からの問い合わせには電話にて対応した。HACCP審査員が年1回の更新監査で工場を訪問した際には、衛生管理向上のため一般的衛生管理を中心とした、指導助言を行った。

#### 6. ごはんソムリエ認定事業

第16回の「ごはんソムリエ認定試験」は、募集は国内在住の方に絞り、人数も会場定員数の半分以下とするなど感染防止対策を徹底し令和2年10月22、23日に開催した。応募は139名であったが見合わせもあり受講者は105名となった。炊飯協会会員の他、農業者、米穀店、学生、行政機関等28の都道府県から参加があり、第16回の合格者を含め、ごはんソムリエ認定者は1,810名となった。

#### 7. 広聴広報事業

①「ごはんでサポートキャンペーン」は、

コロナ禍でありイベントが自粛となり、今年度の取り組みゼロであった。

②『ごはんタイムス』を、7月・11月・3月の3回発行し、会員に配布すると共に、会員外約350の炊飯業者、ごはんソムリエ認定者、図書館40に贈呈配布した。

③「緊急炊飯売上数量調査（3～5月の3か月間の前年同月売上比較）」「食品衛生法改正（HACCPの制度化）」「令和3年産の米情報」等解説を加えた通知文書を作成し各会員に配布した。

また食品業界関連の記事を情報ファイルとしてまとめ、毎月1回会員へ発送した。

#### 8. 会員の入会

令和2年度の入会は、正会員1社【藤本ライスデリカ（株）（埼玉県）】、

賛助会員1組合【全国米穀販売事業共済協同組合】

令和3年3月末現在、正会員71社・賛助会員26社となった。

#### 9. 国産米使用推進団体協議会

令和2年度も米価格形成の透明等を大きなテーマとして取組んだ。

加盟団体

（公社）日本べんとう振興協会、（公社）日本炊飯協会、（一社）日本惣菜協会、

（一社）日本弁当サービス協会、全国米穀工業協同組合、(株)加工用米取引センター

特別顧問(役員)高木勇樹氏(元農水省事務次官)

その他

【HACCP審査委員会】 認定審査に伴う委員会を30回開催した。

【他団体等セミナーへの参加等】

（財）食品産業センター連絡協議会月例会議に参加等他団体等主催による各種講演会に、積極的に受講参加し情報収集等を行った。炊飯量市場規模実態調査は、毎年年度の炊飯数量の調査を行っているが、本年度は、コロナ禍の影響調査のため3月からの3か月間の前年同月比較の炊飯数量の調査も実施した。令和2年3月末に緊急連絡先一覧表を更新し各会員に送付した。特許「炊飯水及び美味しいご飯の炊飯方法」の特許申請が令和3年25日に特許原簿に登録され「特許証」を受領した。 以上